

## 令和5年度 「総合問題（言語文化学科）」出題意図，解答例，出典

※【出】は「出題意図」を，【解】は「解答または解答例」を表す。

1 【出】日本語のエッセイをもとにして，主に読解力と表現力を問う。

問1 【出】漢字および語彙の理解力と知識とを問う。

【解】(a) 輩出 (b) 世襲 (c) 契機 (d) 把握 (e) 詳細

問2 【出】筆者の考えを正しく理解することができるかを問う。

【解】華子と美紀のうち，一般的に裕福な上層階級の出自を意味する「貴族」は華子で間違いない。しかし精神的に自立できていない華子からすれば，自分の足で立ち未来を切り開いていく美紀の生き方こそ，憧れの人生であることを意味している。

問3 【出】筆者の考えを正しく理解し，それを的確に説明することができるかを問う。

【解】海外留学を経験したり自活しようとすることで，自分が生まれ育った階層以外の者とも交流し，旧来の価値観にとらわれることなく異なる価値観の存在を新たに知ることから，広い視野で世界を見渡すことができるまなざし。

問4 【出】筆者の考えを正しく理解し，文脈を踏まえて，論理的に説明することができるかを問う。

【解】周囲の期待や定められた宿命にとらわれず，狭い世界の縛りから解放されて，自分の意思で人生の道を選択する権利。

問5 【出】筆者の主張の趣旨，議論の展開を正しく理解して的確に説明することができるか，また自らの主張を述べる際に感想にとどめるのではなく，自らの主張を筆者の主張と結びつけ，根拠を挙げて論理的に表現することができるかを問う。

【解】ポール・ウィリスによれば，生まれついた階級によって身につける人生観や価値観が決まり，階級が再生産される社会構造がある。社会が分断されているために，自身が属す階級とは別の階級があり，別の人生がありうることに気づくことは難しい。筆者はこの考え方にに基づき，どのような家庭に生まれるのかは本人には選択権がなく運としか言いようがないので，息の詰まる社会で意欲を失った人間を責めることはできないと主張している。このように個人ではなく社会全体の問題として捉える筆者のスタンスに，私は同意する。階層の固定化が進むと社会的格差が広がり，社会は活力を失う。閉塞感を打破して人生に意欲を取り戻すためには，新しい世界を知ることが一つの道であろう。あらゆる人にそうした機会を与えることが社会に活力を取り戻させ，明るい将来を切り開くための希望になる。

出典：土井隆義「意図せざる出会いの豊かさ」『図書』岩波書店，pp.30-34, 2021年11月。

2 【出】 英文のエッセイをもとにして、主に英語の読解力と日本語による表現力を問う。

問1 【出】 基本的な英文法の知識、語彙力、そして英文を正確に読み取って分かりやすい日本語で説明する力を問う。

【解】 最後のカードに書かれた大きな黒いゼロは、私の持ち時間が終わったことをはっきりと示しており、それを見たら私はステージから降りなければならないことは明らかだった。

問2 【出】 基本的な英文法の知識を使って、与えられた語彙からの確な英文を作る力を問う。

【解】 feel free to take more time than is scheduled

問3 【出】 英文の問を理解したうえで、英語で自由に的確に表現することができるかを問う。

【解】 Ranato considers it a good customer service of the speaker to extend the presentation in order to answer all the questions, regardless of the scheduled time, if he/she saw that the audience was enjoying the talk.

問4 【出】 論理の流れに沿って英文を正確に読み取る力、読解した内容を日本語での確に表現する力を問う。

【解】 a.

P-time cultures では、時間を柔軟に変更可能なものとして捉える。約束した面会の時間は真剣に取り扱われるわけではなく、破られることがよくある。時間を設定する際、P-time の人々は正確な時間ではなく、おおよその時間を提案する。

b.

日本は M-time cultures に属すると考えられる。交通機関をはじめ社会生活に不可欠な殆どのものにタイムスケジュールが設定され、スピーチの時間などもあらかじめ決められた通り正確に扱われ、私たちはそれに基づき行動しているからである。

出典：Erin Meyer, *The Culture Map*, PublicAffairs, 2014.